

第59号

出典：「参考特許」

国際公開番号：WO2007/039825

（特表 2008-540511）

（一部及び部分抜粋）

国際公開番号：WO2007/039825（特表 2008-540511）には、抗生物質としてメト
ロニダゾールを炎症性皮膚疾患の湿疹皮膚炎群であるアトピー性皮膚炎、湿疹、脂漏性皮膚炎な
ど、その他の皮膚疾患を含む治療に用いる。

これは、一部及び部分抜粋していますので、詳細は、公表特許公報を参照してください。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2008-540511

(P2008-540511A)

(43) 公表日 平成20年11月20日(2008.11.20)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 47/26 (2006.01)	A 6 1 K 47/26	4 C 0 7 6
A 6 1 K 47/10 (2006.01)	A 6 1 K 47/10	
A 6 1 K 9/12 (2006.01)	A 6 1 K 9/12	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 27 頁)

(21) 出願番号	特願2008-510679 (P2008-510679)	(71) 出願人	506038039 フォーミックス エルティイーディー. イスラエル国 リホボット 76124, ワイツマン サイエンス パーク, ホルツ マン ストリート 2
(86) (22) 出願日	平成18年5月9日 (2006.5.9)	(74) 代理人	110000659 特許業務法人広江アソシエイツ特許事務所
(85) 翻訳文提出日	平成19年12月20日 (2007.12.20)	(72) 発明者	タマーキン, ダヴ イスラエル国 マカビム 71908, ハ ル ヒラ ストリート 537
(86) 国際出願番号	PCT/IB2006/003628	(72) 発明者	ベソノフ, アレックス イスラエル国 リホボット 76283, ゴールドバーグ 1
(87) 国際公開番号	W02007/039825		
(87) 国際公開日	平成19年4月12日 (2007.4.12)		
(31) 優先権主張番号	60/679,020		
(32) 優先日	平成17年5月9日 (2005.5.9)		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		
(31) 優先権主張番号	60/784,793		
(32) 優先日	平成18年3月21日 (2006.3.21)		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 糖類発泡性組成物

(57) 【要約】

【解決課題】本発明は、発泡性の製薬用および化粧用組成物に関する。

【解決手段】水、糖、全組成物重量の約0.2重量%から約5重量%の表面活性剤、生物接着剤、ゲル化剤、フィルム形成剤、および相転移剤から選択された約0.01重量%から約5重量%の少なくとも1種のポリマー剤、および約3重量%から約25重量%の濃度における液化した、または圧縮したガス噴射剤を含む、種々の疾患の治療に使用する、糖を含有する発泡性組成物。

【選択図】なし

【請求項 13】

前記抗感染剤が、抗生物質、抗菌剤、抗真菌剤、酵母を抑制する薬剤、抗ウイルス剤および抗寄生虫剤よりなる群から選択される、請求項 12 に記載の糖組成物。

【請求項 14】

前記抗生物質が、ベータラクタム抗生物質、アミノグリコシド、わなタイプの抗生物質、アントラキノン、アゾール、メトロニダゾール、グリコペプチド抗生物質、マクロライド、エリスロマイシン、クリンダマイシン、ヌクレオシド抗生物質、ペプチド抗生物質、ポリミキシン B、ポリエン抗生物質、ポリエーテル抗生物質、キノロン抗生物質、ステロイド抗生物質、フシジン酸、ムーピロシン (mupirocin)、クロラムフェニコール、スルホンアミド、テトラサイクリン、金属抗生物質、銀、銅、亜鉛、水銀、スズ、鉛、ビスマス、カドミウム、クロム、酸化剤、ヨウ素、ヨウ素酸塩、過ヨウ素酸塩、次亜塩素酸塩、過マンガン酸塩、フリーラジカルおよび/または活性酸素を放出する物質、カチオン抗微生物剤、四級アンモニウム化合物、ピグアナイド、クロロヘキシジン、トリグアナイド、ビスピグアナイド、ポリマーピグアナイド、天然抗生化合物ならびにそれらの類縁体、誘導體、塩、イオンおよび複合体よりなる群から選択される、請求項 13 に記載の糖組成物。

10

【請求項 15】

前記抗真菌剤が、皮膚真菌症、小孢子菌、白癬菌および表皮菌感染、カンジダ症、口腔カンジダ症 (鷺口瘡)、酵母およびカンジダの感染の治療に有用である、請求項 13 に記載の糖組成物。

20

【請求項 16】

前記抗真菌剤が、ポリエン、ナタマイシン、ナイスタチン；アリルアミン、ナフチフィン、テルピナフィン；イミダゾール、ピフォナゾール、クロトリマゾール、エコナゾール、フェンチコナゾール、ケトコナゾール、ミコナゾール、オキシコナゾール；ジアゾール、トリアゾール、フルコナゾール、イトラコナゾール、テルコナゾール、トルナフテート、シクロピロックス、ウンデシレン酸、スルベンチン (sulbentine)、グリセオフルピン、アムホテリシン B、フルシトシン (5FC)、モルホリン化合物、アモロルフィン、

および関連モルホリン類ならびにそれらの類縁体、誘導體および塩、ならびに治療的有効濃度におけるそれらの任意の組み合わせよりなる群から選択される、請求項 13 に記載の糖組成物。

30

【請求項 17】

前記角質溶解剤が、尿素、アルファ - ヒドロキシ酸、乳酸、フェノール、レゾルシノール、サリチル酸、角質溶解性酵素、タンパク質分解性酵素およびパパインよりなる群から選択される、請求項 8 に記載の糖組成物。

【請求項 18】

治療を必要とする標的部位へ、

(i) 水；

(i i) 糖；

(i i i) 全組成物の重量の約 0 . 2 重量% から約 5 重量% の表面活性剤；

40

(i v) 生物接着剤、ゲル化剤、フィルム形成剤、および相転移剤から選択される約 0 . 0 1 重量% から約 5 重量% の少なくとも 1 種のポリマー剤；および

(v) 約 3 重量% から約 2 5 重量% の濃度における液化した、または圧縮したガス噴射剤

を含んでなる糖組成物を投与することがを含んでなり、前記標的部位が、皮膚、体表面、体腔または粘膜表面、鼻腔、口腔、眼、耳管、膣または直腸よりなる群から選択される、標的部位の障害を治療する方法。

【請求項 19】

前記障害が感染を含んでなる、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

50

前記感染が、細菌感染、真菌感染、酵母感染、ウイルス感染および寄生虫感染よりなる群から選択される、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記障害が、創傷、潰瘍および火傷よりなる群から選択される、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 22】

前記障害が、皮膚科学的痛み、皮膚科学的炎症、座瘡、尋常性座瘡、炎症性座瘡、非炎症性座瘡、電撃性座瘡、結節性丘疹膿胞性座瘡、集ぞく性座瘡、皮膚炎、細菌の皮膚感染、真菌の皮膚感染、ウイルスの皮膚感染、寄生虫の皮膚感染、皮膚腫瘍、皮膚新生物、プルーリティス、小胞炎、急性リンパ管炎、リンパ節炎、丹毒、皮膚菌塊、壊死性皮下感染、熱傷様皮膚症候群、毛囊炎、フランケル、汗腺膿瘍、よう、爪周囲感染、皮疹、紅色陰癬、膿か疹、膿瘡、酵母の皮膚感染、いぼ、伝染性軟属腫、皮膚の外傷または損傷、手術後または外科処置後の皮膚病態、疥癬、シラミ寄生症、皮膚爬行症、湿疹、乾癬、ばら色ひこう疹、扁平苔癬、毛孔性紅色ひこう疹、水腫、多形性紅斑、結節性紅斑、環状肉芽腫、表皮壊死症、日焼け、光過敏症、天痘瘡、水疱性類天痘瘡、疱疹状皮膚炎、毛包角化症、仮骨、うおのめ、魚鱗癬、皮膚潰瘍、虚血性壊死、汗疹、多汗症、モール、カボジ肉腫、黒色腫、悪性黒色腫、基底細胞癌、扁平細胞癌、ツタウルシ、有毒オーク、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、酒さ、紫斑病、モニリア症、カンジダ症、禿頭症、脱毛症、ベーチエット症候群、コレステリン腫、ダーカム病、外胚葉異形成症、味覚性発汗、爪・膝蓋骨症候群、狼瘡、じんましん、脱毛、ヘーリー - ヘーリー病、化学的または熱的皮膚火傷、強皮症、老化皮膚、しわ、日光斑、壊死性筋膜炎、壊死性筋肉炎、壊疽、瘢痕、白斑、クラミジア感染、淋菌感染、ヘルペス、H I V / A I D S、ヒトパピローマウイルス (H P V)、性器いぼ、細菌性膣疾患、カンジダ症、軟性下疳、鼠径肉芽腫、鼠径リンパ肉芽腫、粘膜膿性子宮頸管炎 (M P C)、伝染性軟属腫、非淋菌性尿道炎 (N G U)、トリコモナス症、外陰部疾患、バルボジニア (v u l v o d y n i a)、外陰部痛、酵母感染、外陰部ジストロフィー、外陰部上皮内腫瘍症 (V I N)、接触皮膚炎、骨盤炎症、子宮内膜炎、耳管炎、卵巣炎、性器癌、頸部の癌、外陰部の癌、膣の癌、膣乾燥、異常性感、肛門および直腸の疾患、肛門菌塊 / フィステル、肛門癌、裂肛、肛門いぼ、クローン病、痔疾、肛門疥癬、肛門搔痒症、糞便失調、便秘、結腸および直腸のポリープよりなる群から選択される、請求項 18 に記載の方法。

10

20

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、発泡性の製薬用および化粧用組成物に関する。

【0002】

関連出願に対するクロスレファレンス

本出願は、本明細書に参照としてその全体が組み込まれている、吸湿性抗感染組成物の標題で 2005 年 5 月 9 日に提出された米国仮特許出願第 60 / 679020 号の 35 U . S . C . § 119 (e) の下での利益を請求する。

【0003】

本出願は、本明細書に参照としてその全体が組み込まれている、ポリオール形成媒体およびその製薬組成物の標題で 2006 年 3 月 21 日に提出された米国仮特許出願第 60 / 784793 号の 35 U . S . C . § 119 (e) の下での利益を請求する。

40

【背景技術】

【0004】

疾患の治療における薬剤の投与にとって、外部局所投与は重要な経路である。例えば、抗生物質、抗真菌剤、抗炎症剤、麻酔剤、鎮痛剤、抗アレルギー剤、副腎皮質ステロイド、レチノイドおよび抗増殖剤などの多くの薬剤群が、一般に半固体製剤で投与される。クリームおよび軟膏などの半固体組成物は一般的に消費者に用いられているが、より良好な適用制御を達成する一方で、このような製品の有益な性質を維持するか、または皮膚に与

50

えるために、新規な形態が望ましい。

【0005】

ユニークな治療特性を有し、皮膚および粘膜組織の治療を意図した、改善され、使用し易い、安定で非刺激性の泡状製剤が求められているが、まだ応えられていない。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

本発明は、改善された、外部局所投与手段の提供を意図している。

【課題を解決するための手段】

【0007】

(i) 水、(ii) 糖、(iii) 全組成物の重量の約0.2重量%から約5重量%の表面活性剤、(iv) 生物接着剤、ゲル化剤、フィルム形成剤、および相転移剤から選択された約0.01重量%から約5重量%の少なくとも1種のポリマー剤、および(v) 約3重量%から約25重量%の濃度における液化した、または圧縮したガス噴射剤を含む発泡性糖組成物が、本発明により提供される。

【0008】

本発明のさらなる実施形態により、糖は、糖、単糖、二糖、オリゴ糖および糖アルコール；ならびに蜂蜜などの天然糖混合物から選択される。

【0009】

本発明のさらなる実施形態により、該糖組成物は、長鎖脂肪族アルコールおよび長鎖脂肪酸の群から選択される発泡アジュバントをさらに含む。

【0010】

本発明のさらなる実施形態により、該糖組成物は、疎水性溶媒をさらに含む。

【0011】

本発明のさらなる実施形態により、該組成物は、水中油乳液の形態にあり、表面活性剤のHLBは、約9と約14との間である。

【0012】

本発明のさらなる実施形態により、該糖組成物は、角質溶解剤、および極性溶媒からなる群から選択される少なくとも1種の成分をさらに含む。

【0013】

本発明のさらなる実施形態により、該糖組成物は、活性植物抽出物、ダニ駆除剤、老斑および角質除去剤、アレルゲン、鎮痛剤、局所麻酔剤、抗座瘡剤、抗アレルギー剤、抗老化剤、抗菌剤、抗生物質、抗火傷剤、抗癌剤、抗フケ剤、抗鬱剤、抗皮膚炎剤、抗浮腫剤、抗ヒスタミン剤、抗角質過剰溶解剤、抗炎症剤、抗刺激剤、抗脂肪血剤、抗微生物剤、抗糸状菌剤、抗増殖剤、抗酸化剤、抗しわ剤、抗掻痒剤、抗乾癬剤、抗酒さ剤、抗脂漏剤、防腐剤、抗腫脹剤、抗ウィルス剤、抗酵母剤、収斂剤、局所心血管剤、化学療法剤、副腎皮質ステロイド、ジカルボン酸、殺菌剤、殺カビ剤、毛髪成長調節剤、ホルモン、ヒドロキシ酸、免疫抑制剤、免疫調節剤、殺虫剤、昆虫忌避剤、角質溶解剤、ラクタム、金属、金属酸化物、殺糸状菌剤、神経ペプチド、非ステロイド抗炎症剤、酸化剤、殺シラミ剤、光線力学的療法剤、レチノイド、殺疥癬虫剤、自己色素沈着剤、皮膚ホワイトニング剤、血管収縮剤、血管拡張剤、ビタミン、ビタミンD誘導体、創傷治癒剤およびいぼ除去剤の群から選択される少なくとも1種の活性剤をさらに含有する。

【0014】

本発明のさらなる実施形態により、該糖組成物は、吸湿性である。

【0015】

本発明のさらなる実施形態により、(1) 約0.8と約0.9；(2) 約0.7と約0.8；および(3) 約0.7未満、の範囲から選択されるAw値の発泡性組成物を提供するように、該糖の濃度が調整される。

【0016】

本発明のさらなる実施形態により、該吸湿性製薬組成物は、治療的有效濃度の抗炎症剤

10

20

30

40

50